

町田市議会議員・若者育成の街

吉田つとむ

支持政党なし・市議会「保守の会」で活動

町田市議会

〒194-8520 東京都

町田市森野 2-2-22

☎042-724-2171

「保守の会」派室

自宅 042-795-7361

FAX 042-795-2726



yoshidaben@gmail.com

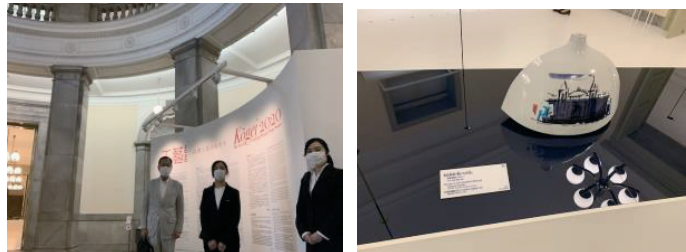
大型箱物建設は選挙公約で問え

工芸美術館の建設は、次の選挙で市民に問え

第4回定例会の一般質問は、全員（正副議長を除く34人）が質問しましたが、私はそのトップで発言しました。その第1問目の質問内容は、町田市が進める（仮称）工芸美術館建設に関するものでしたが、これはその他の多数の議員も取り上げ、関心の深さを示しました。

質問内容は、「4期目をめざした石阪市長は、その選挙公約（マニフェスト）に、（仮称）工芸美術館建設に関して全く触れていないがその経過を問う」というものでした。市長在職の3期目に提起し、推進したこの計画の評判が悪く、改選の選挙ではその主張を一切取りやめていたものでした。当選した途端に積極建設に方針転換した次第ですが、市長の答弁では、「後援者と話し合っただけで公約から外した」という内容で実にあっさりした返答でした。

市長は、新型コロナ対応を含めて、町田市の財政苦境の中で多数の事業の廃止、縮小を見込んでいますが、この工芸美術館建設には執念を燃やして推進を図っています。私の、市長への提案はシンプルで、どうしてもやりたければ、次の選挙に石阪市長が、「工芸美術館建設」を掲げて立候補すればよい、と言うものです。



*写真は、上野の東京国立博物館で行われている特別展「工芸 2020-自然と美のかたち」を見学した際のもの。国立美術館と異なり、内外の一流工芸品の展示でも閑散としている

全面禁煙と歩きたばこの禁止

誰にでもわかりやすい単純なルールが必要

一般質問で、喫煙禁止とポイ捨て禁止（歩きたばこ禁止）の相違と規制に関して尋ねました。掲載写真の場所は、市内の駅前の一つですが、ポイ捨て禁止とそれを守らないと罰則が適用されると書いています。この罰則と言うのは、市内全域で適用されるものです。合わせて、歩きたばこを規制する看板がありますが、それではこの場所で、立ち止まって、あるいはイスに座って喫煙することは、どうなっているかを尋ねました。禅問答のようですが、現実が発生するトラブルであるために、会議の場で町田市の見解を尋ねました。



町田市内の駅周辺の路上で喫煙を全面禁止されているのは、町田駅、成瀬駅、鶴川駅の3駅です。その他の駅では、路上喫煙自体が禁止されているわけではなく、吸殻をポイ捨てすることが、飲み物の空き缶を捨てる行為と同じく規制されている範囲のものです。現状の改善には、明白に区分されたスペースで喫煙者用のルームを設定して、全駅の全面禁煙化を図るべきだと思っています。

◎町田市議会は定数36名、議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。採決は概ね「会派」単位、[保守の会]は個人の判断で自由に賛否を決める場合もあります。

請願は町田市議会事務局に、要望・相談は保守の会に。個人情報規定に基づき厳守されます。

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

若者育成の街◆良識ある保守主義



ブログ HP
メールは
左記を読み
して送信



インターン生募集中

選択式デリバリー弁当中学校給食は破綻

中学校給食の現状と改善を一般質問で取り上げました。町田市は、現行の選択式デリバリー弁当給食が不人気で様々な手段を講じても改善が見られず、10%程度の利用に低迷しています。議会では、その改善や別方式を提起する意見が相次いでされました。市長は新たな方式を検討するために、学校給食問題協議会に諮問をして、来年1月に答申を受けることを決めるスケジュールを発表しました。



会派で八戸市を訪れ、学校給食を全員で試食

まず、想定されるやり方は、あったかい給食、汁物をつけることが喫食率を高める必須要件であり、弁当を搬入室まで取りに行くことで生徒の給食時間が窮屈になっていることも改善されないといけません。給食を作る場所では、自校方式、親子方式、センター方式がありますが、その設置場所の確保、建設費用、目標達成の期間などをまとめて検討する必要がありますが、偉い人ばかりが検討するのでなく、現在の委託弁当を食べていない生徒とその親の意見を取り入れることが肝要だと主張しました。追記:「まちだパパママ給食クロストーク!!」のzoom会議に誘われ、有意義でした。(次回に内容を紹介します)

新型コロナ感染と町田市民病院

町田市は次のように発表しました。12月7日に呼吸器症状を訴えた患者1名に対し、再度PCR検査を実施したところ、感染が確認されました。これに伴い、対象者に再度PCR検査を実施し、12月8日現在、入院患者7名、職員4名(当初の感染者1名を含む)の合計11名の感染が確認されました。今後、対象者を拡大してPCR検査を実施してまいります。



*コロナ期以降、自分で撮影した写真を使用

当初の発表は、次の通りでした。12月2日、町田市民病院において、看護師1名が新型コロナウイルスに感染したことが判明しましたので、ご報告します。当該職員と接触のあった患者さま及び医療従事者に対しては、PCR検査を実施し、全員の陰性を確認しております。また、保健所の指導に従い消毒を実施しております。今後も引き続き、院内感染対策を適切に実施し、診療を継続してまいります。

前後して、市内の感染がほぼ2ケタに乗り、その後も継続しました。どうしても、「安全」環境の公報が優先されています。我々議員も含めて、事態の公表は2日遅れになっていますが、「対策を講じた、対処が完了した」という順序立てが優先されてきたと判断するほかありません。これからの公報は、事態の発生直後、合わせて、判明している範囲で感染ルートが公表されるべきだと思います。

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

今回の議会報告も、いわゆる政務活動費を一切使わずに、自主的に発行しているものです。